



(株)伊藤工務店通信 第21号
(2008年5月)

発行責任者 高橋 衛 (営業担当常務)
株式会社伊藤工務店
三重県伊勢市河崎1-11-4
Tel.(0596)28-9266 Fax.(0596)25-1246
E-mail ito@amigo2.ne.jp
URL http://www.amigo2.ne.jp/~ito/

身近な環境を守ろう

桜の花も終わり本格的に新緑の季節になりました。このニューズレターが皆様のお手元に届く頃は田植やゴールデンウィークも終わり一段落している頃だと思えます。

私の菜園ではタマネギやスナップエンドウ・ホウレン草の収穫の最中でキュウリ・トマト・ナスの苗植えを終え一段落しました。しかし次に雑草が勢いよく出てきて休む暇がありません。自然の力強さを実感します。

今年も温暖化の影響を受けずに、すくすくと成長し収穫できるようにと世話をしています。



建築業界も、温暖化の波の中で、もまれております。今回は環境(エコ)について身近なところから考えてみました。

はじめに

三重県は森林率65%を占め良い環境で暮らしております。しかし林業の衰退により山の荒廃が問題になっていきます。

山が荒れば海が荒廃することは良く知られています。お互いが自然を支えあつて成り立っているからです。

私たちの仕事になくはならない木材の現状はどうでしょうか。

現状

国内の木材は外国産の木材にコスト面で市場を奪われ、木材不況が長く続いております。

その弊害で外国では森林の伐採が進み荒廃し、日本の森林では間伐手間や下草刈りがされずに荒廃していく悪循環が現状です。これで良いとは誰しもが思っていないはず。

対策

県では森林の荒廃を防ぐため、住宅に欠かせない木材を地産地消(地域で作り地域で消費)で、「三重の木」モデルの家づくりに補助金を出したりして推奨しております。しかし根底には循環型社会の形成がなければ実現できず意味がありません。

木を植え、木を育て、木を切り、又木を植えるこのサイクルに、間伐や下草刈りを含めることにより成り立ちます。

(最近企業のボランティアによる森林管理や奉仕作業の話題が取り上げられております)

恵み

地産地消をみんなで実行をすれば森が守れ自然の恵みの、きれいな空気・きれいな水を手に入れられるのです。

皆さんが未来に投資する気持ちで、この自然を守る努力をしている企業を応援する消費者の方々がたくさん出てくることを期待し、当社でも取り組んでいきたいと思えます。

補助金を交付



交付を受けられる条件は
県内で新築する軸組木造住宅
県産認証材「三重の木」を柱・土台
100%・他60%以上使用その他条件有り
認証建築業者又は認証建築設計事務所による設計及び監理をしていること。

以上の条件を満たせば30万円の補助金が交付されます。

社員紹介

総務部 西村 伊都美

はじめまして、新入社員の西村です。まだ入社して日も浅く、毎日勉強の連続です。これからどうぞよろしくお願いたします。

今度の休日に初めて乗馬を体験することになり、今からワクワクしています。乗ると想像以上に高く、見晴らしがとてもいいと聞きました。久々の遠出なのでとても楽しみです。

でも
落馬
しま
せんように……



営業担当 高橋 衛



鳥羽商船高等専門学校2号館耐震改修工事



プール



ヒールスパイセ新築工事

外観



県立志摩病院外来診療棟建築工事



化粧室



岩盤浴